

味の素株式会社 2016年3月期第1四半期 決算概要

2016年3月期第1四半期実績

(単位:億円)

損益計算書	FY2015 4-6月	FY2014 4-6月	増減額	増減率	備考	通期予想	進捗
日本食品	921	668	253	137%		4,072	22%
海外食品	1,172	846	325	138%		5,000	23%
ライフサポート	376	326	49	115%		1,575	23%
ヘルスケア	315	275	40	114%		1,357	23%
その他	136	159	▲22	85%		626	21%
売上高	2,922	2,275	646	128%		12,630	23%
日本食品	62	47	15	132%		279	22%
海外食品	107	75	32	143%		363	29%
ライフサポート	46	4	42	1,110%		128	36%
ヘルスケア	21	8	12	249%		52	41%
その他	0	▲1	2	▲27%		▲2	▲25%
営業利益	238	133	104	178%		820	29%
受取利息	7	6	0	106%		27	26%
受取配当金	6	6	0	102%		-	-
持分法投資利益	6	11	▲5	54%		-	-
その他	12	8	4	150%		-	-
営業外収益	32	32	▲0	98%		-	-
支払利息	5	5	0	109%		27	21%
その他	5	5	▲0	95%		-	-
営業外費用	11	11	0	102%		-	-
経常利益	258	154	104	167%		850	30%
段階取得に係る差益	180	-	180	-		-	-
受取保険金	-	0	▲0	0%		-	-
償却債権取立益	-	5	▲5	0%		-	-
その他	1	0	0	168%		-	-
特別利益	181	6	174	2,698%		-	-
固定資産除却損	2	2	0	106%		34	6%
その他	5	2	2	199%		-	-
特別損失	7	4	2	158%		-	-
税引前当期純利益	433	156	276	276%		850	50%
法人税等	79	25	53	312%	FY2015/Q1 税率:18.2%	257	30%
当期純利益	353	131	222	269%		593	59%
非支配株主帰属当期純利益	28	22	6	129%		93	30%
親会社帰属当期純利益	325	109	215	297%		500	65%

外部要因影響	FY2015 4-6月	FY2014 4-6月	増減額	増減率	備考
換算為替 売上高影響	121	▲7	129	▲1,558%	FY15/Q1 FY14/Q1
営業利益影響	16	▲5	21	▲319%	円/USD 121.43 102.17
貿易為替※ 売上高影響	約20	約10	約10	-	円/EUR 134.21 140.07
営業利益影響	約15	約10	約5	-	円/THB 3.66 3.15
					円/BRL 39.56 45.84
発酵原燃料	約22	-	-	-	FY2015/Q1 主原料 +12、副原料+3、エネルギー +6
日本食品原材料	▲約0	-	-	-	FY2015/Q1 調味料・加工食品 0 冷凍食品 ▲0
コストダウン	約7	-	-	-	日本食品:約7、医薬:約0

前提為替レート (vs JPY)
USD 115.0 THB 3.5
EUR 143.0 BRL 45.0

営業利益への感応度 (予想前提)
■換算為替
USD ±1円 約1億円
EUR ±1円 約0.5億円
THB ±0.01円 1億円弱
BRL ±1円 約2億円

■貿易為替
1円高 vs USD ▲約2億円
0.1EUR高 vs USD ▲約7億円
1THB高 vs USD ▲約8億円
0.1BRL高 vs USD ▲約7億円

※ 5億円単位の概数で表示

貸借対照表	2015年 6月末	2015年 3月末	増減額	増減率	備考	通期予想
総資産	13,162	12,550	611	104%		13,065
(内、流動資産)	6,211	6,079	132	102%		-
(内、固定資産)	6,951	6,471	479	107%		-
負債	5,359	5,116	243	104%		5,522
(内、有利子負債)	2,493	2,115	377	117%		-
純資産	7,802	7,434	367	104%		7,543
(内、非支配株主持分)	754	739	15	102%		-

キャッシュフロー	FY2015 4-6月	FY2014 4-6月	増減額
①営業活動によるCF	276	229	47
②投資活動によるCF	▲396	▲100	▲296
③財務活動によるCF	216	▲27	244
④現金および現金同等物の残高	1,729	1,399	329
フリーキャッシュフロー(①+②)	▲119	129	▲248
設備投資	▲109	▲98	▲10
減価償却費	124	104	20

▲はキャッシュアウト

2016年3月期第1四半期実績

【日本食品】

以下、2016年3月期第1四半期期通期に関するコメント

	2015年4～6月	通期予想	通期進捗	2014年4～6月	増減
売上高	921	4,072	22%	668	253
調味料・加工食品	459	2,042	22%	442	16
冷凍食品(日本)	221	970	22%	225	▲4
コーヒー類	240	1,060	22%	-	240
営業利益	62	279	22%	47	15
調味料・加工食品	62	-	-	56	5
冷凍食品(日本)	3	-	-	8	▲4
コーヒー類	19	-	-	-	19
全社共通費	▲22	▲96	24%	▲17	▲5

- *1 業務用商品の伸長や家庭用商品の前年の消費税増税影響の解消等により、全体で増収。
- *2 業務用は主要カテゴリーの拡大や大手需要家との取り組み推進等で伸長するも、家庭用主力品の販売苦戦等により全体で減収
- *3 AGF社の新規連結影響により、大幅増収。
- *4 冷凍食品の円安に伴う輸入コスト増影響あるも、AGF社の新規連結や業務用の調味料・加工食品の増益影響等により全体で増益。

【海外食品】

	2015年4～6月	通期予想	通期進捗	2014年4～6月	増減
売上高	1,172	5,000	23%	846	325
調味料・加工食品	719	3,158	22%	619	99
冷凍食品(海外)	250	1,018	24%	41	209
加工用うま味調味料・甘味料	202	824	24%	186	16
営業利益	107	363	29%	75	32
全社共通費	▲37	▲149	25%	▲29	▲7

- *1 換算為替影響や「味の素®」、風味調味料の数量増等により、全体で増収。
- *2 味の素ウインザー社の新規連結および換算為替の影響等により大幅増収。
- *3 加工用うま味調味料の為替影響や海外の販売単価上昇等により、全体で増収。
>参考:加工用うま味調味料の売上高 136億円
- *4 調味料・加工食品の換算為替や販売数量増影響、加工用うま味調味料の貿易為替影響等により増益。
>参考:調味料・加工食品 +24、
冷凍食品(海外) ▲0
加工用うま味調味料 +15
甘味料 +0

<換算為替の影響> 売上高:+102億円、営業利益:+15億円

【ライフサポート】

	2015年4～6月	通期予想	通期進捗	2014年4～6月	増減
売上高	376	1,575	23%	326	49
動物栄養	262	1,083	24%	210	51
化成品	104	-	-	107	▲2
その他	9	-	-	8	1
営業利益	46	128	36%	4	42
動物栄養	29	66	45%	▲12	42
化成品	26	-	-	27	▲1
その他	0	-	-	▲0	0
全社共通費	▲10	▲40	25%	▲10	0

- *1 スレオニン、リジンの販売単価上昇等により増収。
- *2 香粧品は伸長するも、PC市場の伸び悩みに伴う電子材料の販売数量減により、全体で減収。
- *3 動物栄養の販売単価上昇、コストダウン影響等により全体で増益。

<換算為替の影響> 売上高:+8億円、営業利益:▲0億円

【ヘルスケア】

	2015年4～6月	通期予想	通期進捗	2014年4～6月	増減
売上高	315	1,357	23%	275	40
アミノ酸	178	-	-	143	35
医薬	89	421	21%	94	▲4
その他	48	-	-	37	10
営業利益	21	52	41%	8	12
アミノ酸	22	-	-	16	5
医薬	8	35	23%	5	2
その他	0	-	-	▲3	4
全社共通費	▲9	▲43	23%	▲9	0

- *1 (内訳) 医薬用・食品用アミノ酸 +6
製薬カスタムサービス +28
- *2 自社販売品増収も、提携販売品が前年の新製品(「アテディオ®」)初回一斉出荷の反動影響あり、全体で減収。
- *3 >参考:アミノ酸のうち医薬用・食品用アミノ酸 +0
製薬カスタムサービス +5
- *4 オペレーション効率改善により提携販売品の減収影響をカバーし、増益。

<換算為替の影響> 売上高:+4億円、営業利益:+0億円

【その他事業】

	2015年4～6月	通期予想	通期進捗	2014年4～6月	増減
売上高	136	626	21%	159	▲22
営業利益	0	▲2	▲25%	▲1	2
全社共通費	▲5	▲24	24%	▲7	1

- *1 主に物流事業等の減収により減収。
- *2 物流事業で前年下期から実施した値上げ影響等により、全体で増益。

2016年3月期第1四半期実績

■事業別・地域別売上高

※ 上段:2016年3月期第1四半期実績、下段:2015年3月期第1四半期実績。()内は増減額 (単位:億円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
日本食品	900 (248) 652	9 (3) 5	6 (1) 4	5 (▲0) 5	921 (253) 668
海外食品	39 (▲0) 40	612 (101) 511	424 (218) 205	95 (6) 89	1,172 (325) 846
ライフサポート	98 (▲2) 101	43 (9) 34	141 (40) 101	92 (3) 89	376 (49) 326
ヘルスケア	163 (▲2) 166	7 (3) 4	57 (17) 40	86 (23) 63	315 (40) 275
その他	108 (▲28) 137	27 (6) 21	- -	- -	136 (▲22) 159
合計	1,311 (213) 1,098	700 (122) 577	630 (278) 352	280 (32) 247	2,922 (646) 2,275

■事業別・地域別営業利益

※ 上段:2016年3月期第1四半期実績、下段:2015年3月期第1四半期実績。()内は増減額 (単位:億円)

	日本	アジア	米州	欧州	地域外*	合計
日本食品	76 (16) 59	6 (2) 3	1 (0) 0	1 (0) 1	▲23 (▲5) ▲17	62 (15) 47
海外食品	3 (10) ▲7	118 (28) 89	27 (3) 24	0 (2) ▲2	▲43 (▲13) ▲29	107 (32) 75
ライフサポート	27 (2) 24	0 (3) ▲3	15 (29) ▲13	11 (6) 4	▲8 (0) ▲8	46 (42) 4
ヘルスケア	16 (11) 4	0 (0) 0	8 (3) 5	5 (3) 2	▲9 (▲5) ▲3	21 (12) 8
その他	3 (0) 2	2 (0) 2	- -	0 (▲0) 0	▲5 (1) ▲7	0 (2) ▲1
全社共通費等*	▲38 (▲7) ▲31	▲24 (▲5) ▲19	▲19 (▲9) ▲10	▲8 (▲1) ▲7	91 (23) 67	- -
合計	88 (35) 53	104 (30) 73	34 (27) 6	11 (11) ▲0	- -	238 (104) 133

*全社共通費、未実現利益消去等を含む。

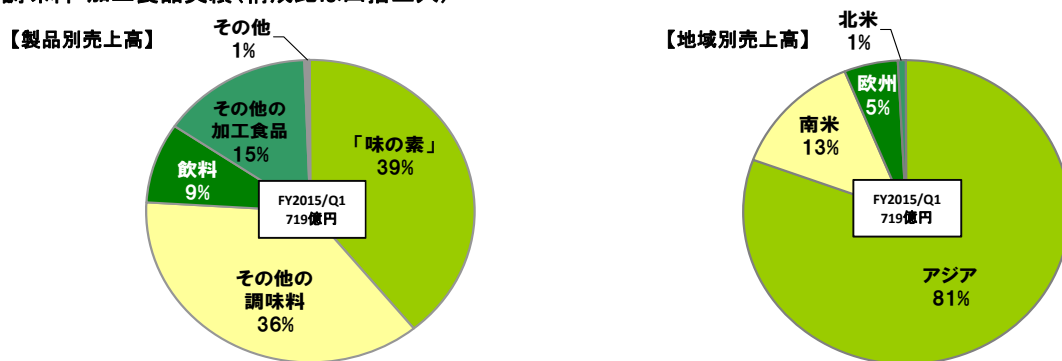
<日本食品> 日本:+16、アジア:+2、米州:+0、欧州:+0、地域外:▲5 計 +15億円
日本 AGF社の新規連結等により増益。

<海外食品> 日本:+10、アジア:+28、米州:+3、欧州:+2、地域外:▲13 計 +32億円
アジア 調味料・加工食品の増収や換算為替のプラス影響等で増益。

<ライフサポート> 日本:+2、アジア:+3、米州:+29、欧州:+6、地域外:0 計 +42億円
米州 主に動物栄養で増益。

<ヘルスケア> 日本:+11、アジア:+0、米州:+3、欧州:+3、地域外:▲5 計 +12億円
日本 医薬用・食品用アミノ酸、医薬の増益等により増益。

■海外調味料・加工食品実績(構成比は四捨五入)



【FY2015/Q1 Five Starsの海外調味料・加工食品売上高】

■タイ	約81億THB	(前年比102%、円ベース118%)
■インドネシア	約1兆91億IDR	(前年比120%、円ベース127%)
■ブラジル	約1.7億BRL	(前年比104%、円ベース90%)
■ベトナム	約1兆5,230億VND	(前年比112%、円ベース130%)
■フィリピン	約15億PHP	(前年比113%、円ベース133%)

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

※本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

※本資料の金額は、億円未満切り捨てて表示しております。